

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みずきキッズクラブ 児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	2026 年 1 月 5 日 ～ 2026 年 1 月 20 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2026 年 1 月 14 日 ～ 2026 年 1 月 20 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 1 月 30 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員は保育士や教員免許を所有している者が多い	・基準以上の配置になるようにしている。 ・放デイとの多機能型の為、放デイがない午前中は特に厚く支援ができる。	・より専門性を活かしたプログラムが実施していけるように、研修等を交えて専門性を高めていきたい。 ・社内研修の充実を図りつつ、外部研修への積極的に参加できるように体制を整えていく。 ・職員間で意見を出し合える環境をより構築していく。
2	幼稚園や保育所の流れに合わせ、日々の流れを作っている	・1日を通してご利用ができる。 ・幼稚園や保育園の流れに合わせる事で「こんなときどうする」が実際の場面として経験し実用できる。	・幼稚園や保育園で困っている事、困る事、これができたら等具体的な所を聞き支援に取り入れていく。 ・1日を通して利用になる為、1日を通して支援しているからこそできる支援ができるとより強みになる。
3	担当者会議等への参加、連携	・担当者会議等には、実際支援に携わっている職員も一緒に参加し、より連携ができるようにしている。	・進路をご家族様に聞き取りしながら、進路に向けて何が必要か、どう連携していくかを相談しながら進めていく（同じ方向性を持ち取り組んでいく）。 ・定期的に会議を設ける事で、一貫性のある支援ができるようになる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や地域との交流がない	・営業日の実施は仕事をしているご家族様が多い為難しい。 ・休日に実施した際には、別日で職員の休みを確保する事が難しい。 ・社会資源を活用した際に地域の方との交流はあるものの、イベント等での交流は実施していない。	・保護者会開催実施の検討。 ・夏祭り等イベントの実施。地域の人を招いて地域に開かれた事業の運営。 ・子ども達が地域で生活を継続していくため、地域の方との関わりを増やしていく。
2	事業所外での他児との交流	・保育所等との交流は相手方の考え方やプログラムもあり時間配分が難しい。 ・コロナ禍になってからは感染リスクも考えると集団で交流をお願いする事は難しい。 ・社会資源、地域資源を利用し、その際に事業所外の方と関わる機会を設けている。しかし、対象として小さい児童さんが多く、同じ年代の方との関わりは薄い。	・社会資源、地域資源をこれまで同様利用しながら、他者との関わりや地域の人との関わりを増やしていく。 ・さまざまな人との関わる機会づくりや人とつながる力を育めるよう関わりを増やしていく。
3	研修等が少ない	・支援を第一に考えると、義務化されている研修を行うだけでも日程合わせが大変である。 ・研修に出ると人手不足となる事が多く、積極的参加が難しい。	・支援体制を整え研修に参加できるように整える。 ・午前の時間帯やZoomで参加ができるものには積極的に参加する。 ・外部研修で得た知識を、内部研修に活かしていく。